

**令和4年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和4年12月  
海老名市立今泉小学校**

令和4年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年，中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

### (1)教科に関する調査(国語，算数・数学及び理科)

出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では，上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については，記述式の問題を一定割合で導入する。

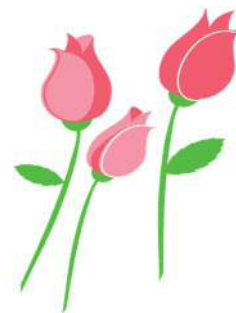
### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について，一部の学校で，端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 文章全体の構成に着目して文章を整え、自分の考えを最初に書いていることを捉えること。（全国比+10.0）
- 発言の内容を適切に捉えることができおり、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることもできていること。（全国比+6.9）
- 物語を推薦する理由として、前向きな気持ちになることを挙げていることを踏まえ、物語から伝わってくることを考えて書くこと。（全国比+4.6）

### ◆課題のある点

- 習っている漢字を文の中で正しく書くこと。（「録画」…全国比-9.1、「親しむ」…全国比-3.5）
- 経験したことをもとに、感想や意見を具体的に書く文章のよいところを見付けること。（全国比-5.0）
- 読みやすい文章にするために、行の中心に文字の中心をそろえて書いていることを捉えること。（全国比-5.0）

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合いなどの活動を通して、一人ひとりが自分の意見を持ち、根拠を示しながら意見をまとめて書いたり、述べたりする機会を設けていく。
- 漢字の読み書きについては、既習漢字を繰り返し練習する時間を設けるとともに、日常的に文章の中で適切に使うように指導していく。
- 文章の要点や相手の主張を的確に捉え、言葉を補いながらまとまりを意識して書く活動を積極的に取り入れていく。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあること(果汁の量 180mL が 30mL の6倍であること)を用いて、未知の数量(果汁の量が 180mL のときの飲み物の量)の求め方と答えを記述すること。(全国比+12.7)
- 百分率で表された割合を分数で表すこと。(全国比+10.2)
- 表の各欄と合計欄の意味を理解して、数量の関係を式に表し、計算すること。(全国比+6.9)

### ◆課題のある点

- 数量が変わっても割合は変わらないこと。(果汁が 20%含まれている飲み物を二人で等分しても果汁の割合は変わらないこと。)(全国比-2.7)
- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述すること。(全国比-1.1)

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 身に付けた知識や計算などの技能、考え方を、日常生活の場面とリンクさせることを意識して指導を行う。具体的には、導入場面に日常生活の場面を設定したり、単元の終わりに学習した内容を日常生活に生かす授業を設定したりすることが考えられる。
- 「図形」の領域では、図形の意味や性質を基に作図の仕方を自分で考え表現する場面を繰り返し設け、多様な考え方ができるように促していく。また、友達の作図の仕方を見てどのような図形の性質を使ったのかなど、考えを読み取ることも行っていく。

# 小学校 理科

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 昆虫の幼虫と成虫の食べ物について比較した表から気づいたことを基に、表を分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。(全国比+9.5)
- メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けていること。(全国比+8.7)
- カブトムシの資料を育ち方と主な食べ物の二つの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつこと。(全国比+5.4)

### ◆課題のある点

- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること。(全国比-3.6)
- 鏡を操作して反射させた光を対象として、光の性質を基に、反射させた日光の進み方について問う問題において、日光は直進することについて理解していること。(全国比-2.8)

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題に対する予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、観察や実験などを行った結果を事実として分析し、解釈したことを、結論の根拠として表現することを今後も継続して指導していく。特に、考察の際は、問題に立ち返り、結果を基に、自分の考えを表現するように指導していく。
- 知識を概念的に理解したり、習得した知識を、次の学習や生活などに生かしたりすることができるような活動や機会を多く設けていく。



# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分なりの考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童の割合が高い。(82.3%)
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいると回答した児童の割合が高い。(84.1%)
- 国語と算数の勉強が大切だと思っていると回答した児童の割合が高い。(国語 95.3%, 算数 97.2%)
- 国語と算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っていると回答した児童の割合が高い。(国語 94.4%, 算数 95.4%)

### ◆本校の課題と思われるところ

- 国語、算数の授業に対する肯定的な回答は全国平均を上回っているものの、全体的な理科の授業に対する肯定的な回答が、全国平均に比べやや低い。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思っていると回答した児童の割合が高い。(87.8%)
- 人が困っているときには、進んで助けたいと回答した児童の割合が高い。(91.6%)
- 人の役に立つ人間になりたいと回答した児童の割合が高い。(95.4%)
- 友達と協力するのが楽しいと回答した児童の割合が高い。(91.6%)

### ◆本校の課題と思われるところ

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていると回答した児童の割合が、全国平均に比べ低い。(全国 83.9%, 本校 79.4%)
- 学校に行くのが楽しいと回答した児童の割合が全国平均に比べやや低い。(全国 51.7%, 本校 49.5%)
- 将来の夢や目標をもっていると回答した児童の割合が、全国平均に比べ低い。(全国 79.8%, 本校 72.0%)

## 今後の具体的な取組について

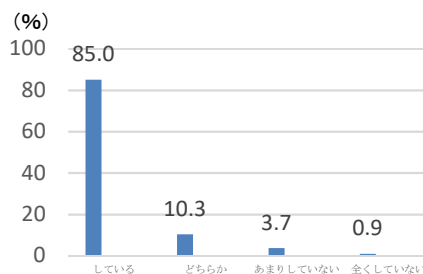
- 前向きな言葉がけや児童の活動を肯定的に認めていくことで、自分や友達よさに気づき、児童の自己肯定感が高まるような授業づくりや学級づくりを目指してきた。今後は、児童が自分で判断し、自己決定する場の設定を充実させたり、子どもの意思を確認したりしていくことで、自己肯定感をさらに高められるようにしていく。
- 様々なことに挑戦する場を充実させ、新たな自分を知る機会を設けていく。その過程の中で、自分の生き方や将来の夢や目標について考えることができるようにしていく。

# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 規則正しい生活を続けていきましょう。

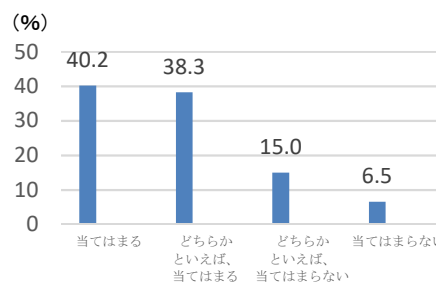
毎日、朝ご飯を食べることで活動や学習のための体の準備ができます。これは生活全体のリズムを保つためにも大切なことです。これからも家族みんなで協力していきましょう。



朝食を毎日食べていますか

## 2 よいところや得意なことを認め、伸ばしていきましょう。

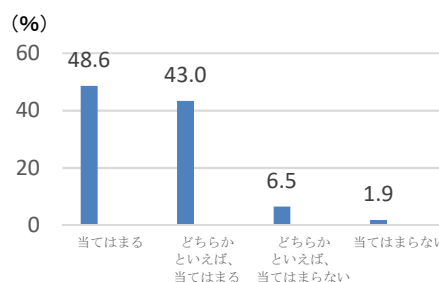
自分のよいところや得意なことを認め、伸ばしていくことで自信をもち行動することができます。これからも、いろいろなことに挑戦し、自分のよいところや得意なことを伸ばしていきましょう。



自分には、よいところがあると思いますか

## 3 みんなで支え合い、生活しましょう。

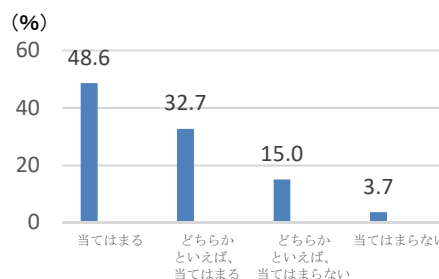
本校の児童は、困っている人がいたら進んで助けたいと思っている児童が多いです。これからの時代は、様々な人が、分け隔てなく暮らすことのできる共生社会を形成していくことが重要です。



人が困っているときには、進んで助けますか

## 4 様々な本に触れ、語彙を豊かにしましょう。

読書活動は、言葉を学んだり、表現力を高めたりすることができます。本や電子図書など、たくさんの書物に触れる機会を充実させましょう。



読書は好きですか

## 結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係